

第10回京都国際図書館フォーラム

月日：2019年8月31日（土）、9月1日（日）

場所：京都大学教育学部第7演習室（総合研究2号館地下）

8月31日（土）

※合評『図書館と読書をめぐる理念と現実』

13:00-13:30 評者：久野和子（神戸女子大学）

ロス論文「頂点に立つ読者」

13:30-14:00 評者：塩見昇（大阪教育大学名誉教授）

福井論文「社会的責任論からみた戦後の全国図書館大会の展開」

※発表

14:00-14:40 嶋崎さや香（大阪樟蔭女子大学）

教育会図書館研究とその課題

15:00-15:40 山崎沙織（東京大学）

女性を中心とする読書グループの活動はどのように意味づけられてきたか：成員の
アイデンティティとの関わりに着目して

15:40-16:20 久野和子（神戸女子大学）

学校図書館の文化的な意義と役割

16:20-17:00 吉田右子（筑波大学）

戦後初期公民館構想における公共図書館の位置づけに関する批判的再解釈

9月1日（日）

※発表

09:00-09:40 金晶（上海図書館国際交流センター）

Analysis of the Concerns of Contemporary Libraries from the Perspective of the
Shanghai International Library Forums (SILF)

09:40-10:20 福井祐介（京都大学）

1970年代の図書館の社会的責任論

10:20-11:00 中山愛理（大妻女子大学）

アメリカ南部の公立図書館における児童サービスとその空間：アトランタ公立図書館を中心に

11:10-11:50 杉山悦子（四国大学）

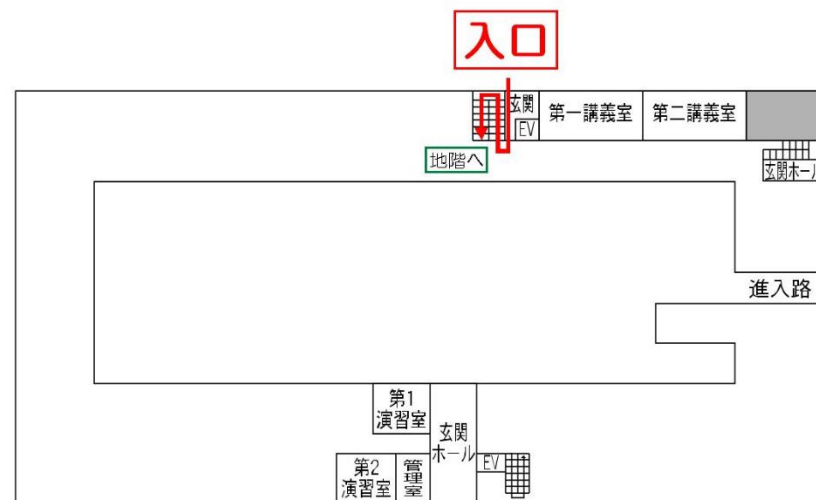
日本における学校図書館研究の歴史的展開

11:50-12:30 川崎良孝（京都大学名誉教授）

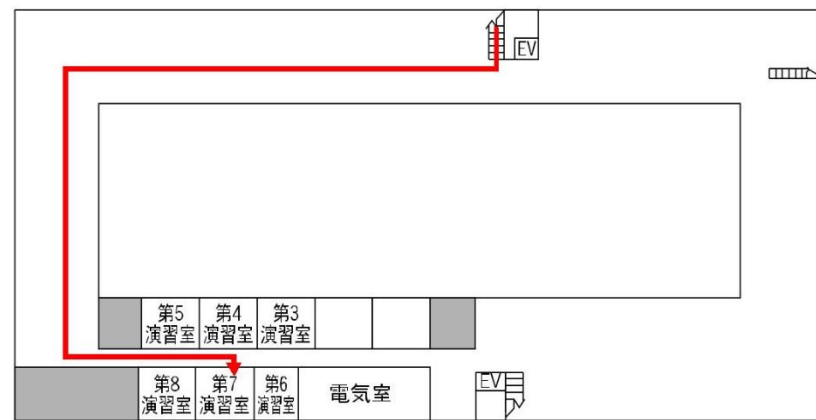
喫緊の社会的、政治的な問題と図書館界の立場表明：研究の視野と限界



総合研究2号館



1階



地階

第7演習室